

別表 1(中規模用)

日常の火災予防を行う担当者と日常の注意事項

防 火 管 理 者				担当者の任務	
役職・氏名 _____				防火管理者	・ 当該施設の防火管理業務の総括責任者 ・ 防火担当責任者と火元責任者に対し指導監督を行う
防火担当責任者		火元責任者		防火担当責任者	・ 防火担当区域の火災予防について責任を持つとともに、火元責任者に対し指導監督を行う。 ・ 防火管理者の補佐を行う。
担当区域	氏 名	担当区域	氏 名	火元責任者	・ 担当区域の火災予防について、「自主検査チェック票」などにに基づきチェックし、防火管理者に報告する。
				従業員等の注意事項	
				1 消火器、屋内消火栓などが設置してある場所や階段、通路、出入口などの周辺には、物品を置かないこと。 2 防火戸の付近には、閉鎖の障害となる物品を置かないこと。 3 火気設備器具の周辺は、よく整理整頓して、燃えるものを接して置かないこと。 4 休憩室、事務室などから最後に出る人は、必ず火の始末をすること。 5 従業員、職員等の喫煙は、指定された場所で行い、必ず吸殻入れを用いて喫煙すること。 6 死角となる廊下、階段室、トイレなどに燃えるものを置かないこと。 7 危険物品等を使用するときは、防火管理者の承認を得ること。 8 異常事態が発生したときは、必ず防火管理者に報告すること。 9 喫煙場所などの吸殻入れ、通路のゴミ入れを確認するほか、吸殻は不燃性の蓋付き水入り容器に入れるなどして処分すること。 10 建物内外の整理整頓を行い、ゴミやダンボール箱など燃えやすいものは、決められた時間以外は、外に出さないこと。 11 電気、ガスなどの火気設備器具のスイッチを切り、各室の安全を確かめた後に施錠すること。 12 火元責任者は、担当区域の火気の状況を責任を持って管理すること。 13 その他	

別表 2(中規模用)

自主検査チェック表(日常)「火気関係」 _____月

実施責任者				担当区域			
日	曜 日	実 施 項 目					
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
(備考) 不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。 (凡例) ○…良 ×…不備・欠陥 △…即時改修						防火管理者 確 認	

別表 3(中規模用)

自主検査チェック票（日常）「閉鎖障害等」

実施責任者				担当範囲			
実施日時							
実施項目		確認箇所	チェック状況	チェック状況	チェック状況	チェック状況	
避難障害							
閉鎖障害							
操作障害等							
備考							
実施責任者				担当範囲			
実施日時							
実施項目		確認箇所	チェック状況	チェック状況	チェック状況	チェック状況	
避難障害							
閉鎖障害							
操作障害等							
備考							
(備考) 不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告します (凡例) ○・・・良 ×・・・不備・欠陥 ⊗・・・即時改修						防火管理者 確認	

自主検査チェック票(定期)

実施項目及び確認箇所		検査結果
建物構造	(1) 基礎部 上部の構造体に影響を及ぼすような沈下・傾き・ひび割れ・欠損等がないか。	
	(2) 柱・はり・壁・床 コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。	
	(3) 天井 仕上材に、はく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。	
	(4) 窓枠・サッシ・ガラス 窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下、又は枠自体のはずれのおそれのある腐食、ゆるみ、著しい変形等がないか。	
	(5) 外壁（貼石・タイル・モルタル・塗壁等）・ひさし・パラペット 貼石・タイル・モルタル等の仕上材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上り等が生じていないか	
	(6) 屋外階段 各構成部材及びその結合部に、ゆるみ・ひび割れ・腐食・老化等はないか。	
	(7) 手すり 支柱が破損・腐食していないか。また、取付部にゆるみ・浮きがないか。	
	(8) 消防隊非常用進入口は表示されているか。また、進入障害はないか。	
防火施設	(1) 外壁の構造及び開口部等 ① 外壁の耐火構造等に損傷はないか。	
	② 外壁の近く及び防火戸の内外に防火上支障となる可燃物の堆積及び避難の障害となる物品等を置いていないか。	
	③ 防火戸は円滑に開閉できるか。	
	(2) 防火区画 ① 防火区画を構成する壁、天井に破損がないか。	
	② 階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。	
	③ 自動閉鎖装置（ドアチェック等）付の防火戸・防火シャッターのくぐり戸が完全に閉まるか。 〔確認要領〕○ 常時閉鎖式は最大限まで開放して閉まるのを確認する。 ○ 煙感知器連動閉鎖式は、防火戸を止めているマグネット等を手動により外し自動的に閉鎖するのを確認する。	
	④ 防火シャッターの降下スイッチを作動させ、防火シャッターが最後まで降下するか。	
	⑤ 防火戸・防火シャッターが閉鎖した状態で、隙間が生じていないか。	
避難施設	⑥ 防火ダンパーの作動状況は良いか。	
	(1) 廊下・通路 ① 有効幅員が確保されているか。	
	② 避難上支障となる設備・機器等の障害物を設置していないか。	
	(2) 階段 ① 手すりの取付部の緩みと手すり部分の破損がないか。	
	② 階段室の内装は不燃材料になっているか。	
	③ 階段室に設備・機器等の障害物を設置していないか。	
	④ 非常用照明がバッテリーで点灯するか。	

避難施設	(3)	避難階の避難口（出入口）		
		① 扉の開放方向は避難上支障ないか。		
		② 避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。		
		③ 避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。		
火気設備器具	(1)	厨房設備（コンロ、レンジ、フライヤー等）、給湯器等		
		① 可燃物品から適正な距離が保たれているか。また、周辺部は炭化していないか。		
		② ガス配管等は、亀裂、老化、損傷していないか。		
		③ 油脂を含む蒸気を発生させる厨房設備の天蓋、グリスフィルター、防火ダンパー及び排気ダクトは、清掃されているか。		
		④ 防火ダンパーに変形、損傷がなく、かつ、正常に作動するか。		
	(2)	厨房器具（ガスストーブ、石油ストーブ等）		
電気設備	(1)	変電設備		
		① 電気主任技術者等の資格を有する者が検査を行っているか。		
		② 変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。		
	(2)	電気器具		
		① タコ足の接続を行っていないか。		
		② 許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。		
危険物施設	(1)	少量危険物貯蔵取扱所		
		① 標識は掲げられているか。		
		② 掲示板（類別・数量等）には、正しく記載されているか。		
		③ 換気設備は適正に機能しているか。		
		④ 容器の転倒、落下防止措置はあるか。		
		⑤ 整理清掃状況は適正か。		
		⑥ 危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。		
	(2)	指定可燃物貯蔵取扱所		
		① 標識は掲げられているか。		
		② 貯蔵取扱所周辺に火気はないか。		
		③ 整理整頓（集積）の状況は良いか。		
検査実施者名	検査年月日	検査実施者名	検査年月日	防火管理者確認
	年 月 日		年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	

（備考） 不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告します。

（凡例） ○：良 ×：不備・欠陥 ⊗：即時改修

消防用設備等自主点検チェック表

実 施 設 備	確 認 箇 所	点検 結果
消 火 器 (年 月 日実施)	(1) 設置場所に置いてあるか。	
	(2) 消火薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。	
	(3) 安全栓が外れていないか。安全栓の封が脱落していないか。	
	(4) ホースに変形、損傷、老化等がなく、内部に詰まりがないか。	
	(5) 圧力計が指示範囲内にあるか。	
屋内消火栓設備 泡 消 火 設 備 (移動式) (年 月 日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。	
	(2) 消火栓扉は、確実に開閉できるか。	
	(3) ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。	
	(4) 表示灯は点灯しているか。	
スプリンクラー設備 (年 月 日実施)	(1) 散水の障害はないか。(例：物品の集積など)	
	(2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。	
	(3) 送水口の変形及び操作障害はないか。	
	(4) スプリンクラーのヘッドに漏れ、変形はないか。	
	(5) 制御弁は、閉鎖されていないか。	
水噴霧消火設備 (年 月 日実施)	(1) 散水の障害はないか。(例：物品の集積など)	
	(2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。	
	(3) 管、管継手に漏れ、変形はないか。	
泡 消 火 設 備 (固定式) (年 月 日実施)	(1) 泡の分布を妨げるものがないか。	
	(2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。	
	(3) 泡のヘッドにつまり、変形はないか。	
不活性ガス消火設備 ハロゲン化物消火設備 粉 末 消 火 設 備 (年 月 日実施)	(1) 起動装置又はその直近に防護区画の名称、取扱方法、保安上の注意事項等が明確に表示されているか。(手動式起動装置)	
	(2) 手動式起動装置の直近の見やすい箇所に「不活性ガス消火設備」「ハロゲン化物消火設備」「粉末消火設備」の表示が設けあるか。	
	(3) スピーカー及びヘッドに変形、損傷、つぶれなどはないか。	
	(4) 貯蔵容器の設置場所に標識が設けてあるか。	
屋外消火栓設備 (年 月 日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。	
	(2) 消火栓扉の表面には「消火栓」又は「ホース格納箱」と表示されているか。	
	(3) ホース、ノズルに変形、損傷はないか。	
動力消防ポンプ (年 月 日実施)	(1) 常置場所の周囲に、使用の障害となるようなものがないか。	
	(2) 車台、ボディー等に割れ、曲がり及びボルトの緩みがないか	
	(3) 管そう、ノズル、ストレーナー等に変形、損傷がないか。	
自動火災報知設備 (年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。	
	(2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。	
	(3) 用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。	
	(4) 感知器の破損、変形、脱落はないか。	
ガス漏れ火災警報設備 (年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。	
	(2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。	
	(3) 用途変更、間仕切り変更、ガス燃焼機器の設置場所の変更等による未警戒部分がないか。	
	(4) ガス漏れ検知器に変形、損傷、腐食等がないか。	
漏電火災警報器 (年 月 日実施)	(1) 電源表示灯は点灯しているか。	
	(2) 受信機の外形に変形、損傷、腐食等がなく、ほこり、錆等で固着していないか。	

非常ベル (年 月 日実施)	(1) 表示灯は、点灯しているか。			
	(2) 操作上障害となるものがないか。			
	(3) 押しボタンの保護板に破損、変形、損傷、脱落等がないか。			
放送設備 (年 月 日実施)	(1) 電源監視用の電源電圧計の指示が適正か、電源監視用の表示灯が正常に点灯しているか。			
	(2) 試験的に放送設備により、放送ができるかどうか確認する。			
避難器具 (年 月 日実施)	(1) 避難に際し、容易に接近できるか。			
	(2) 格納場所の付近に物品等が置かれ、避難器具の所在がわかりにくくなっているか。			
	(3) 開口部付近に書棚、展示台等が置かれ、開口部をふさいでいないか。			
	(4) 降下する際に障害となるものがなく、必要な広さが確保されているか。			
	(5) 標識に変形、脱落、汚損がないか。			
誘導灯 (年 月 日実施)	(1) 改装等により、設置位置が不適正になっていないか。			
	(2) 誘導灯の周囲には、間仕切り、衝立、ロッカー等があつて、視認障害となっていないか。			
	(3) 外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、かつ適正な取付状態であるか。			
	(4) 不点灯、ちらつき等がないか。			
消防用水 (年 月 日実施)	(1) 周囲に樹木等使用上の障害となるものがないか。			
	(2) 道路から吸管投入口又は採水口までに消防自動車の進入通路が確保されているか。			
	(3) 地下式の防火水槽、池等は、水量が著しく減少していないか。			
連結散水設備 (年 月 日実施)	(1) 送水口の周囲は、消防自動車の接近に支障がないか、また送水活動に障害となるものがないか。			
	(2) 送水口に変形、損傷、著しい腐食等がないか。			
	(3) 散水ヘッドの各部に変形、損傷等がないか。			
	(4) 散水ヘッドの周囲には、散水を妨げる広告物、棚等の障害物がないか。			
連結送水管 (年 月 日実施)	(1) 送水口の周囲は、消防自動車の接近に支障がないか、また送水活動に障害となるものがないか。			
	(2) 送水口に変形、損傷、著しい腐食等がないか。			
	(3) 放水口の周囲には、ホースの接続や延長等の使用上の障害となるものがないか。			
	(4) 放水口を格納する箱は、変形、損傷、腐食等がなく、扉の開閉に異常がないか。			
	(5) 表示灯は、点灯しているか。			
非常コンセント設備 (年 月 日実施)	(1) 周囲に使用上障害となるものがないか。			
	(2) 保護箱は、変形、損傷、腐食等がなく容易に扉が開閉できるか。			
	(3) 表示灯は、点灯しているか。			
備考				
検査実施者氏名		防火管理者 確認		

(備考) 不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告します。

(凡例) ○ : 良 × : 不備・欠陥 ⊗ : 即時改修

別表 6 (中規模用)

消 防 用 設 備 等 点 検 計 画 表

点検実施月日 及び点検 の区分 消防用設備等の種類	点検実施月日	
	機器点検	総合点検

※ 消防用設備等の点検を点検業者と契約している場合

点検設備業者	
住 所	
電 話 番 号	

別表 7 (中規模用)

自衛消防隊の編成

< 本 部 隊 >

管
理
権
原
者

自衛消防隊長

自衛消防隊長代行者

通報連絡(情報)班 (名)
班長 _____
班員 _____

初期消火班 (名)
班長 _____
班員 _____

避難誘導班 (名)
班長 _____
班員 _____

安全防護班 (名)
班長 _____
班員 _____

応急救護班 (名)
班長 _____
班員 _____

< 地 区 隊 >

地区隊

地区隊長

通報連絡(情報)班 (名)
班長 _____
班員 _____

初期消火班 (名)
班長 _____
班員 _____

避難誘導班 (名)
班長 _____
班員 _____

安全防護班 (名)
班長 _____
班員 _____

応急救護班 (名)
班長 _____
班員 _____

地区隊

地区隊長

通報連絡(情報)班 (名)
班長 _____
班員 _____

初期消火班 (名)
班長 _____
班員 _____

避難誘導班 (名)
班長 _____
班員 _____

安全防護班 (名)
班長 _____
班員 _____

応急救護班 (名)
班長 _____
班員 _____

地区隊

地区隊長

通報連絡(情報)班 (名)
班長 _____
班員 _____

初期消火班 (名)
班長 _____
班員 _____

避難誘導班 (名)
班長 _____
班員 _____

安全防護班 (名)
班長 _____
班員 _____

応急救護班 (名)
班長 _____
班員 _____

別表 7（中規模用）

自衛消防隊の編成と任務

自 衛 消 防 隊 長 （自衛消防隊に対する指揮、命令、監督等を行う。）						
自 衛 消 防 副 隊 長 （隊長を補佐し、隊長不在時は、その任務を代行する。）						
自 衛 消 防 隊 の 編 成 （ 平 常 時 ）						
自衛消防隊長 自衛消防副隊長		通報連絡班				
		班長（	）	班員（	）（	）（
		消 火 班				
		班長（	）	班員（	）（	）（
		避難誘導班				
		班長（	）	班員（	）（	）（
		安全防護班				
		班長（	）	班員（	）（	）（
		応急救護班				
		班長（	）	班員（	）（	）（

担 当 の 任 務		自 衛 消 防 隊 の 編 成 （ 休 日 ・ 夜 間 等 ）				
通報連絡担当	消防機関への通報及び通報の確認 館内への非常放送並びに指示命令の伝達 関係者への連絡	最高責任者 （ ）				
初期消火担当	出火場所への急行 消火器等による初期消火					
避難誘導担当	出火時における避難者の誘導 負傷者及び逃げ遅れ者の確認 非常口の開放並びに開放の確認と物品除去					
安全防護担当	・ 水損防止、電気、ガス等の安全措置及び防火戸、 防火シャッターの操作					
応急救護担当	・ 応急救護所の設置・負傷者に対する応急措置 ・ 救急隊との連携、情報の提供					
		通報連絡担当	（	）（	）	
		初期消火担当	（	）（	）	
		避難誘導担当	（	）（	）	
		安全防護担当	（	）（	）	
		応急救護担当	（	）（	）	

自 衛 消 防 訓 練 実 施 結 果 表

実 施 日 時	年 月 日 時 分～ 時 分		
実 施 根 拠	消 防 計 画 の 定 期 ・ 臨 時 ・ 応 援 協 定	実施計画書	有 ・ 無
実 施 場 所		参加人員	名
実 施 範 囲	建物： 全体 ・ 部分 (棟 階)		
	参 加 事 業 所		
	参 加 部 門		
実 施 区 分	実 働 ・ 体 験 ・ 確 認 ・ 図上研究		
実 施 内 容	1	総 合 ・ 消 火 ・ 消火実放水 ・ 通 報 ・ 避 難 ・ 検 証	
	2	安 全 防 護 ・ 応 急 救 護 ・ 地 震	
	3	隊任務・編成 ・ 基礎行動・規律	
	4	総合競技会参加訓練 ・ 出初式参加訓練 ・ 消防演習参加訓練	
訓 練 対 象 者	・ 従業員 (全 員 ・ 一 部) ・ パート、アルバイト ・ 自衛消防隊員 (全 員 ・ 一 部 ・ 特定の者) ・ 自衛消防隊 本部 ・ 地区 (全 員 ・ 一 部) ・ 防災センター勤務者		
訓 練 想 定	火災 ・ 地震 ・ その他 () 発災の階 場所：		
訓 練 指 揮 者	職 氏 名		
結果への意見	全体の評価		
	推 奨 事 項		
	反 省 点		

記 入 者	職 氏名
-------	------

防火管理業務の一部委託状況表

(年 月 日現在)

防火対象物名称				再受託者の有無		
管理権原者氏名				☐ 無し ☐ 一部有り ☐ 全部		
防火管理者氏名						
受託者の氏名及び住所等（法人にあっては名称及び主たる事務所の所在地）						
				受託者が再委託する場合記入		
受託者の行う防火管理業務の範囲及び方法	常駐方式	範	☐ 火気使用箇所の点検監視業務 ☐ 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理 ☐ 火災が発生した場合の初動措置 ☐ 初期消火 ☐ 通報連絡 ☐ 避難誘導 ☐ その他（ ） ☐ 周囲の可燃物の管理 ☐ その他（ ）		☐ 同左 ☐ 同左 ☐ 同左 ☐ 初期消火 ☐ 通報連絡 ☐ 避難誘導 ☐ その他（ ） ☐ 同左 ☐ その他（ ）	
		方	常駐場所 常駐人員 委託する防火対象物の範囲 委託する時間帯			
	巡回方法	範	☐ 巡回による火気使用箇所の点検等監視業務 ☐ 火災が発生した場合の初動措置 ☐ 初期消火 ☐ 通報連絡 ☐ その他（ ） ☐ その他（ ）		☐ 同左 ☐ 同左 ☐ 初期消火 ☐ 通報連絡 ☐ その他（ ） ☐ その他（ ）	
		方	巡回回数 巡回人員 委託する防火対象物の区域 委託する時間帯			
	遠隔移報方法	範	☐ 火災異常の遠隔監視及び現場確認業務 ☐ 火災が発生した場合の初動措置 ☐ 初期消火 ☐ 通報連絡 ☐ その他（ ） ☐ その他（ ）		☐ 同左 ☐ 同左 ☐ 初期消火 ☐ 通報連絡 ☐ その他（ ） ☐ その他（ ）	
		方	現場確認要員の待機場所 到着所要時間 委託する防火対象物の区域 委託する時間帯			

(備考)「受託者の行う防火管理業務の範囲」については、該当する項目の□にレ印を付すこと。

防火管理業務一部委託契約書の内容チェック表(管理権原者の自己チェック表)

作成する内容		チェック欄
1 名称・所在		
2 委託業務範囲等		
(1) 範囲(全部、階数、一部等)		
(2) 業務(一括、防災センター監視、警備、設備、清掃、駐車場等)		
(3) 契約期間		
(4) 受託者に防火管理上の権限を付与すること。		
3 受託者の厳守事項		
(1) 契約内容を遵守すること。		
(2) 防火、防災業務あつては、消防法令に基づく管理権原者又は防火管理者の指揮、命令に従うこと。		
(3) 消防計画に基づき業務を行うこと。		
(4) 消防法令並びに館内規則を遵守すること。		
(5) 勤務日報の記録及び報告をすること		
4 勤務体制等		
(1) 方法(常駐、巡回、遠隔移報等)		
(2) 常駐場所(防災センター、管理室、待機場所等)		
(3) 時間、人数、巡回回数、到着所要時間		
(4) 防災教育、訓練の実施		
(5) 休日、夜間の体制		
(6) 消防用設備等の取扱いマニュアルの設置		
(7) 資格の保有者数(自衛消防技術認定証、防災センター要員講習等)		
5 火気使用箇所の点検等監視業務		
(1) 喫煙禁止場所における違反者に対する是正措置		
(2) 火気使用設備、器具等の点検及びガスの閉鎖状況確認		
(3) 吸殻処理状況の確認		
6 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理		
(1) 防火設備、消防用設備等の管理、保全状況の目視点検、確認		
(2) 防火戸・防火シャッター閉鎖障害の有無並びに閉鎖状況		
(3) 避難施設(非常口、通路、階段等)における避難障害の有無		
(4) 消火器、消火栓、避難器具、自動火災報知設備等の損傷又は使用障害の有無		
(5) 防災システム異常・故障表示の対応 (防災設備不作動表示を含む)		
(6) 建物、施設等の破損又は危険箇所の有無		
7 火災が発生した場合の初動措置		
(1) 自衛消防組織の編成に基づく初動措置		
(2) 火災の発見(人的、煙感知器、設備の起動表示灯による発見)		
(3) 火災状況の把握(受信機の表示、非常電話等による情報収集)		
(4) 消防機関への通報(電話・火災通報装置等による通報)		
(5) 避難誘導(非常放送の活用、避難方向の指示、エレベーター使用禁止)		
(6) 初期消火(消火器、屋内消火栓の活用)		
(7) 空調設備の停止(給排気設備の停止)、エレベーターの呼び戻し(避難階への呼び戻しと停止)、排煙設備の起動(排煙設備の起動順位の設定)、非常口等の解錠(非常口扉の解錠)、防火戸閉鎖等(防火戸、防火ダンパー等の遠隔操作及び手動操作)		
(8) 消火設備の起動(各種消火設備の遠隔起動操作及び手動操作)		
8 周囲の可燃物の管理等		
(1) 放火防止対策(建物外周や共用部分に放置された可燃物の処理)		
(2) リネン室、倉庫、ゴミ置場等の施錠		
9 その他		
(1) 定期的な建物内外の巡回		
(2) その他防火管理上必要な事項		
10 地震発生時の措置		
11 再委託をする場合の契約内容の確認		

※ 契約書の中に受託者に行わせる一部委託内容が盛り込まれているかどうか、該当する項目をチェックし、この用紙を消防計画に添付し届け出ます。